

# 野田村観光協会 平成26年度 活動状況



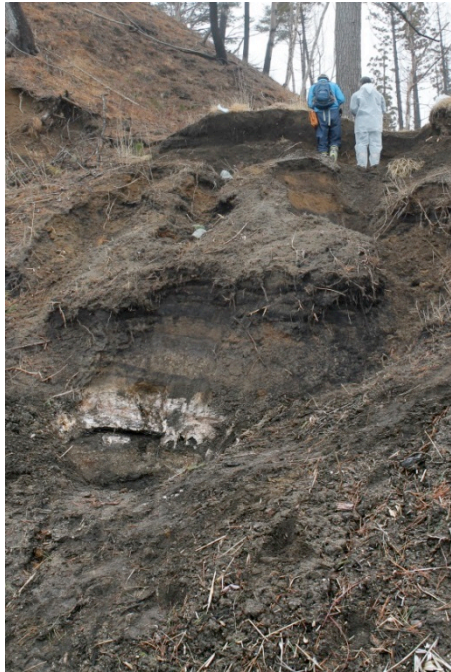
## ー野田村震災ガイドー

野田村観光協会では、震災の教訓を多くの方々に記憶していただくため、大津波の脅威を語り継ぎ、地域の復旧と復興への様子をご案内する「震災ガイド」を実施しております。26年度は新たに野田村民のボランティアガイド3名が誕生しました！



利用者は25年度より減少したものの、県内外からたくさんの方々にご利用いただきました。年々進んでいく復興事業と変わってゆく風景。ガイドの皆さんも日々勉強です。

## 7000年にわたる過去の津波の記憶を野田村で発見！



平成26年度3月、野田村内で「津波堆積物観察会」が開かれました。

この「津波堆積物層序」は、野田村内の国立公園地内の民有地にあるもので、現在より過去7000年の間で13回から14回にわたる津波の痕跡をとどめている堆積層です。

参加した野田村震災ガイドらにとって、約7000年間にわたる津波堆積物を含む三陸沿岸で最も良好な層序が残されているという衝撃の事実には、驚きを隠せませんでした。

北三陸最大の被災地・野田村には、現状被災遺構や津波石などが数少なく、貴重なものとして平成27年度5月に北三陸ジオパーク推進連絡会により、この「津波堆積物層序」の保存を村へ要望されました。

三陸に住む我々が、三陸の自然の恵みと驚異を後世に伝えてゆくため、今後

とも活動を行っていききたいと思っております。

## —野田まつり、震災後初めて山車3者復活！—

平成26年度8月22日～24日に開催された「野田まつり」(野田まつり実行委員会主催)では、震災から3年と5カ月、3年ぶりに上組・中組・下組3者の競演が実現しました。

震災により太鼓や笛、山車の台車や飾りなどが損壊・流失などの被害を受けた組もあり、震災以降、2011年～2012年は1台の山車を上組・中組・下組合同で、2013年には上組の復活により上組・中組それぞれが山車を引き出しました。そして2014年に下組が復活を遂げ、ついに3者が出揃いました。

皆様からの多くのご支援に感謝します！



下組 転禍為福～不死鳥の如く～

平成27年度は8月21日～23日開催！

## のんちゃん 20周年なのだ！



鮭の稚魚が  
モチーフにな  
ってるんだ  
し。

野田村のイメージキャラクター“のんちゃん”は皆さまから愛されて20年！鮭の日でありのんちゃんの誕生日でもある11月11日、誕生20周年を祝ってセレモニーを開催。生みの親である、グラフィックデザイナー櫻庭昇さんから、のんちゃんをイメージしたオレンジ色の花束が渡されました！

## 三鉄沿線スマイル活動 のだ村エモーション



26年度、野田村に誕生したNPO法人「のんのりのだ物語」主催（(株)のだむら、野田村観光協会共催）による、三陸鉄道へ手を振るおもてなし活動「のだ村エモーション」。村民への参加を呼びかけ、三鉄に感謝を、乗客の皆さんに感動を届けようと、不定期ですがH27年度も継続的に活動しています。